

製品名: PRX III ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16570**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	26kDa

抗原情報

遺伝子名	PRDX3
別名	PRDX3; AOP1; Thioredoxin-dependent peroxide reductase; mitochondrial; Antioxidant protein 1; AOP-1; HBC189; Peroxiredoxin III; Prx-III; Peroxiredoxin-3; Protein MER5 homolog
遺伝子 ID	10935.0
SwissProt ID	P30048
免疫原	抗血清はヒト PRX III 由来の合成ペプチドに対して産生された。AA 範囲: 44-93

背景

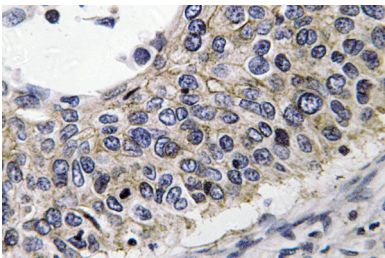
この遺伝子は、抗酸化機能を持つミトコンドリアタンパク質をコードしています。このタンパク質は、チフス菌アルキルヒドロペル

オキシド還元酵素の C22 サブユニットに類似しており、C22 サブユニットを欠損する大腸菌において、アルキルヒドロペルオキシドに対する細菌耐性を回復させることができます。ヒトとマウスの遺伝子は高度に保存されており、マウスとヒトの染色体間でシテニーな領域にマッピングされています。最近クローニングされた哺乳類ホモログとの配列比較から、これらの遺伝子は細胞増殖、分化、および抗酸化機能の制御を担うファミリーを構成していることが示唆されています。このファミリーメンバーは、細胞を酸化ストレスから保護し、前立腺癌における細胞生存を促進することができます。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。関連する擬似遺伝子は、1 番、3 番、13 番、22 番染色体上に同定されている。[RefSeq 提供、2014 年 10 月]、触媒活性: $2 R'-SH + ROOH = R'-S-S-R' + H(2)O + ROH$ 、機能: 細胞の酸化還元制御に関与する。ラジカル生成システムによる酸化的ダメージからラジカル感受性酵素を保護する。MAP3K13 と相乗的に作用して、細胞質中の NF- κ B の活性化を制御する。、その他: 酸化ストレスにより Cys-108 が過剰酸化されて Cys-SO(3)H になり、不可逆的に不活性化される。、その他: 活性部位は、Cys-SOH に酸化された酸化還元活性な Cys-108 である。Cys-SOH は他のサブユニットの Cys-229-SH と速やかに反応し、分子間ジスルフィド結合を形成し、同時にホモ二量体を形成する。その後、チオレドキシニンによるジスルフィドの還元によって酵素は再生する可能性がある。、類似性: ahpC/TSA ファミリーに属する。、類似性: 1 つのチオレドキシンドメインを含む。、サブユニット: ホモ二量体; 酸化によりジスルフィド結合を形成する (類似性による)。MAP3K13 に結合する。、

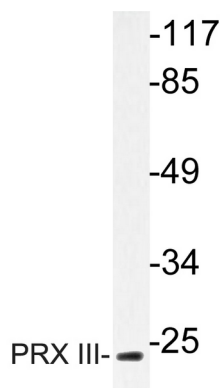
研究分野

神経科学

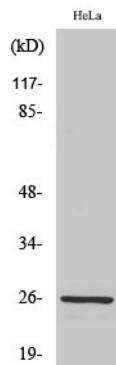
画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織における PRX III 抗体の免疫組織化学分析。



PRX III 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



PRX III ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。